

**製品名: AKT1/2/3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86669**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:56 kDa; Observed MW:56 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AKT1/2/3
別名	MPPH; PKBG; MPPH2; PRKBG; STK-2; PKB-GAMMA; RAC-gamma; RAC-PK-gamma
遺伝子 ID	10000
SwissProt ID	Q9Y243
免疫原	ヒト AKT3 の組み換えタンパク質

**背景**

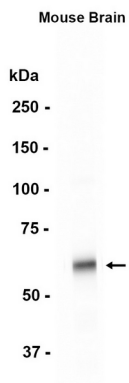
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンタンパク質キナーゼファミリーである AKT（別名 PKB）に属し

ます。AKTキナーゼは、インスリンや成長因子に対する細胞シグナル伝達の調節因子として知られています。細胞増殖、分化、アポトーシス、腫瘍形成、グリコーゲン合成、グルコース取り込みなど、様々な生物学的プロセスに関与しています。このキナーゼは、血小板由来成長因子 (PDGF)、インスリン、インスリン様成長因子 1 (IGF1) によって刺激されることが示されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライス転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



AKT1/2/3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。